

おたふくかぜ

任意
接種



おたふくかぜについて

ムンプスウイルスによる感染症です。

唾液や汗などの飛沫や接触により感染し、感染力は強くしばしば流行します。

潜伏期間は 14 日～ 18 日間で、突然の両側あるいは片側の耳下腺または顎下腺の炎症によるはれと痛み、発熱などで発症します。

耳下腺・顎下腺の腫脹は

発症 3 日目頃がピークで 1 週間程度で軽快します。

中には腫脹の部位が変わりながら 1 週間以上続くこともあります。

合併症がなければ安静にして経過観察が基本です。

合併症があれば入院が必要になることもあります。

合併症は？

合併症として**無菌性髄膜炎**（100 人に 1 人）、**難聴**（1,000 人に 1 人）

その他、精巣炎や卵巣炎などにも注意が必要です。

おたふくかぜにかかった後の難聴は治癒しない場合が多いです。

ただ片方だけのことが多く、気づかれにくいケースも多いです。

まれに両方の難聴になることもあり、そうになると影響は深刻で、

人工内耳の装着などの対応が必要となります。

治療法は？

対症療法しかなく、熱や痛みを和らげるために解熱鎮痛剤を使います。

登園について

頬の腫れや痛みがはじまったあと 5 日を経過し、かつ全身状態が良好となり医師の許可を得てからの登園となります。



登園には
医師の許可が
必要です。



ワクチン について

任意接種ですが感染予防と合併症予防のため

接種することをおすすめします。

1歳以上で接種可能です。

なるべく集団保育の前に接種しましょう。

1歳以降から接種可能

同時接種 OK

すぐに受診

耳下腺（耳の下）の腫れに加えて

- ☐ **頭痛**がひどい
- ☐ **嘔吐**を繰り返す
- ☐ **腹痛**を伴う

診療時間内 に受診

☐ 嘔吐や頭痛もなく、水分もとれて元気

おたふくかぜは登園登校停止の対象疾患です。
また耳下腺が腫れる病気はおたふくかぜ以外にもあるので、
必ず病院で診察を受けてください。

家庭での ケア

Point

髄膜炎に注意！観察を

- 髄膜炎を起こすことがあるので、症状の経過に注意して観察してください。
- 痛みが強くなるので、酸っぱいものや、よくかまなくてはいけな食べ物は避ける。
- 痛みが強い場合は腫れている部分を冷やしましょう。
- 腫れてから5日間は登園登校できないので、自宅で安静にしてください。

潜伏期間 14～18日 改善まで 1週間程度